

オープン市場短信 (2020年1月)

2020.1.15

◆ 12月のCP市場動向

月末のCP市場残高は20兆4,735億円と、前月比△5,667億円減少した。前年同月比では+1兆6,687億円の増加となった。業態別残高では、その他金融が10兆5,215億円(前月比+4,673億円)と2カ月連続で過去最高を更新した。金融機関は1兆6,487億円(同+2,394億円)、ABCPは1兆3,654億円(同+2,528億円)と増加した。一方、一般事業法人は四半期末毎での有利子負債の圧縮ニーズから6兆9,379億円(同△1兆5,262億円)と減少した。発行レートは、投資家やディーラーの購入ニーズからマイナス~0%近辺の出会い中心であったが、発行残が多く発行頻度の高い銘柄では、プラスレートの出会いも散見された。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%割れ~0% 一般事業法人(a-1格) 0.000%割れ~0.036% その他金融銘柄(a-1格) 0.000%割れ~0.035%

【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	12月末残高	11月末残高	増 減
一般事業法人	69,379	84,641	-15,262
その他金融	105,215	100,542	4,673
金融機関	16,487	14,093	2,394
政府系金融	0	0	0
銀行等	2,850	3,000	-150
証券	13,637	11,093	2,544
ABCP	13,654	11,126	2,528
計	204,735	210,402	-5,667

(注:買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

格 付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+ (一般事業法人)	— ~ —	— ~ —	△ ~ △
a-1 (一般事業法人)	△ ~ 0.0024%	△ ~ 0.0200%	△ ~ 0.0360%
a-1+ (リース銘柄)	— ~ —	△ ~ —	△ ~ △
a-1 (リース銘柄)	△ ~ 0.0050%	△ ~ 0.0350%	— ~ —
a-2	△ ~ ケ0.15%	△ ~ ケ0.15%	0.0000% ~ ケ0.15%

《C P オペ》

C P等買入オペは、オファー額が月間で計 8,000 億円と予定額（計 9,000 億円）から減額となって、3日・13日・25日に実施された。市場残高が月中 22 兆円前後と高水準で推移し、ディーラーの売却ニーズも強く、按分レートは前月より上昇し△0.001%の横ばい推移となった。

〈月末オペ残高：2兆 1,982 億円〉

【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
12月3日	12月6日	3,000	9,652	2,984	-0.001%	0.005%	43.6%
12月13日	12月18日	2,500	8,405	2,473	-0.001%	0.000%	28.4%
12月25日	12月30日	2,500	7,470	2,490	-0.001%	0.001%	35.7%

《A B C P》

A B C Pは、1兆3,654億円と前月比+2,528億円増加したが、前年同月比では△1,088億円の減少であった。

《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、12月末時点における発行登録企業数は、大建工業が新規登録を行い 530 社となった。

《C P 現先市場》

現先（S/N）レートは運用ニーズ強く、マイナス～0%近辺での出会いで0%では引き続き買い残り状態となっていた。

◆ 1月のCP市場動向

1月の発行市場は、四半期末要因で残高調整をした企業の発行再開と引き続き良好な発行環境を活用する動きから、期落ち（約2兆9,000億円）を上回り35ヶ月連続して前年同月比増が見込まれる。発行期間としては、3月末までの期中物が中心となるだろう。発行レートは、発行増に伴い上昇し0%近辺での出会いが中心となり、3月末を超えない案件や発行頻度の高い銘柄では、プラスレートでの出会いも散見されると思われる。

《CPオペ》

今月のCP等買入オペは、前月より3,000億円減少し、合計5,000億円の予定となっている（オファー予定日：15日・28日）。オファー額の減少により、按分レートは横ばい推移が予想される。

《CP現先市場》

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続き0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 （出所：証券保管振替機構）

【12月末発行残高 上位10社】

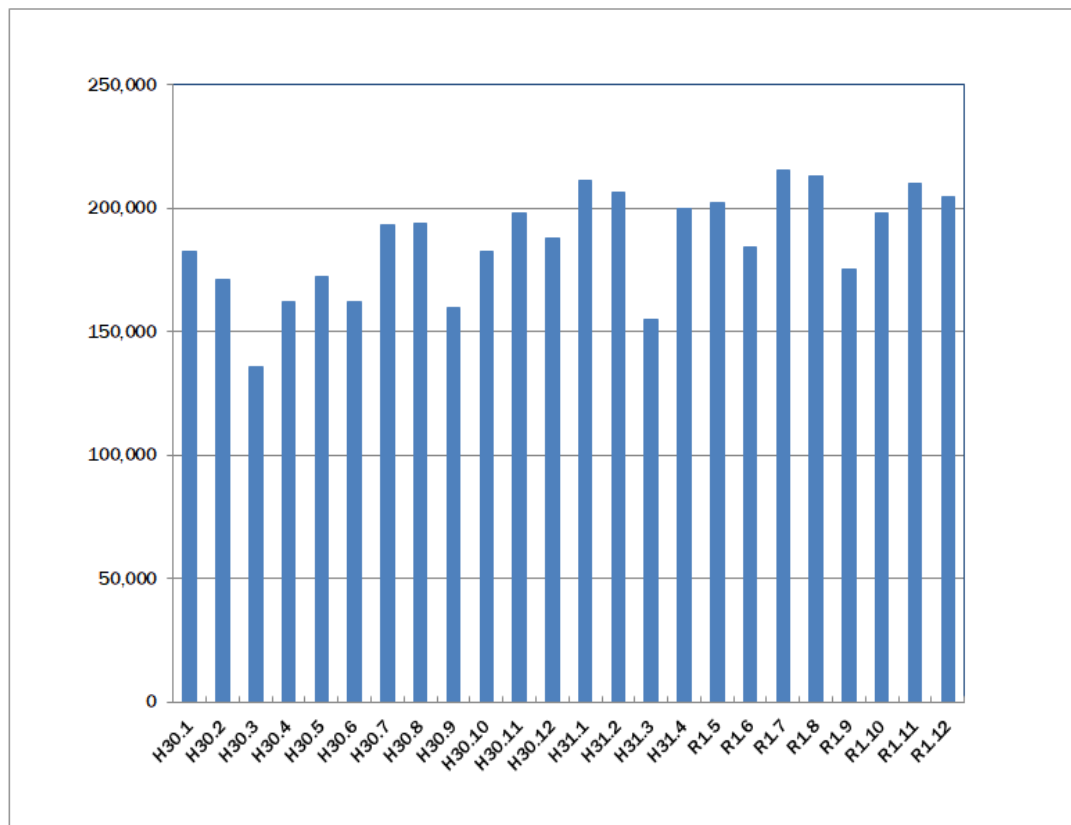
(単位：億円)

	発行企業名	12月末残高	11月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	10,970	10,620
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	10,349	9,419
3	三菱UFJリース株式会社	6,735	6,871
4	株式会社クレディセゾン	5,970	5,820
5	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,563	4,542
6	みずほリース株式会社	5,500	5,500
7	東京センチュリー株式会社	5,150	6,850
8	芙蓉総合リース株式会社	4,497	4,397
9	ジャックス	4,465	4,455
10	三菱重工業	4,350	4,900

【短期社債市場残高】

(2018年1月～2019年12月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会